

エコアクション21

環境活動レポート



環境省
エコアクション21
認証番号 0010513
(認証範囲：サイト認証)

(令和5年度版)

運用期間：令和5年4月～令和6年3月



美しい環境を守る。

今、私たちの出来る事を！

総合管財株式会社

令和6年9月10日発行

環境経営方針

基本理念

地域の発展に貢献するために、病院、官公庁、オフィスビルのビル清掃業務、警備業務、建物・設備の維持管理業務、産業廃棄物収集運搬などを行っている ALSOK グループです。

環境経営理念としての環境基本法をはじめ循環型社会形成推進基本法、エコアクション21の環境経営システムを理解し構築・運用することにより環境保全への取組みを継続的に展開します。また、地域の皆様と共生できる企業として快適な生活環境の保全に努めることを念頭におき各業務の遂行に当たっております。

行動指針

一般廃棄物及び産業廃棄物、医療関連施設からの特別管理産業廃棄物の収集運搬業務、医療施設維持管理業務における環境経営システムを構築・運用し継続的な取組みを推進するために、この行動指針に基づき、環境目標及び活動計画等を定め、実行性のある活動を積極的に展開します。

1. 二酸化炭素の排出を削減します。
 - ・エコドライブを実施し社用車等の燃料使用量の抑制を行います。
 - ・節電を励行し低電力消費環境づくりを目指します。
2. 廃棄物排出量の削減を行います。
 - ・カーボンニュートラルに向け排出を抑制すると共にリサイクルを推進します。
3. 水使用量の削減を行います。
 - ・節水に努め、水使用量を削減します。
4. 環境に良い商品・サービスを提供し、グリーン購入を推進します。
5. 環境基本法等の環境関連法規を遵守します。
6. 地域社会と良好な環境コミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。
7. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。
8. この環境方針は広く一般に公表します。

令和 5年 4月 1日制定

総合管財株式会社

代表取締役 濱岸 守

1. 事業概要

1. 名称及び代表者名

総合管財株式会社 代表取締役 濱岸 守

2. 所在地

- ・本社 〒751-0875 山口県下関市秋根本町二丁目町 6 番 22 号
- ・ファシリティマネジメント部収集運搬課 〒750-1141 山口県下関市小月幸町 5 番 6 号
- ・ファシリティマネジメント部施設管理部 〒750-0041 山口県下関市向洋町 1 丁目 13 番 1 号
下関市立市民病院受託業務

3. 環境管理責任者氏名並び連絡先

環境管理責任者 ファシリティマネジメント部 次長 仙田 和弘
TEL (代) 083-282-9128 FAX 083-282-9132

4. 事業内容

清掃業務、ビル管理業務、産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬業務、施設維持管理業務

5. 資本金 10 百万円 売上高 55,926 万 (令和 4 年度)

6. 法人設立年月日 昭和 55 年 6 月

7. 事業規模 令和 6 年 5 月現在

		(病院敷地内)	本社	
	環境マネジメント部 収集運搬課	施設管理部 設備管理課	業務部 業務課	管理部 総務課
従業員数	7 名	19 名	91 名	5 名
延床面積	251 m ²	100 m ²	298 m ²	

- ・ファシリティマネジメント部 収集運搬課・・・下関市小月幸町 5 番 6 号に事業場がある。
- ・ファシリティマネジメント部 施設管理課・・・下関市立市民病院管轄下にて中央監視室にある。

8. 事業年度

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日の期間。

9. 認証・登録範囲

(1) 対象事業者名 総合管財株式会社

(2) 対象事業所 ファシリティマネジメント部収集運搬課・積替保管場所
 ※ファシリティマネジメント部施設管理課はテナポラリースイトであるため、対象事業所に該当しないが、ファシリティマネジメント部施設管理課の事業活動、従業員は EA21 対象範囲である。

(3) 対象活動 特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬に関する活動
 下関市立市民病院受託業務の施設維持管理に関する活動

(4) 産業廃棄物収集運搬許可

許可地	許可番号	許可年月日	有効期限	区分	優良認定	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ト屑及び陶磁器屑	ガラス屑・コンクリート屑	木くず	がれき類	感染性産業廃棄物	廃石綿等
山口県	035500 35749	R02 4/1	R07 3/31	特管	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	●	●
	035000 35749	R02 4/1	R07 3/31	産廃	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—
下関市	075600 35749	R04 5/10	R07 3/31	特管	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	●	●
	075100 35749	R04 5/10	R07 10/31	産廃	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
福岡県	040500 35749	R02 4/1	R07 3/31	特管	—	—	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—	●	●
	040000 35749	R02 4/1	R07 3/31	産廃	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

「優良産業廃棄物処理業者認定」令和7年更新のとき取得予定。

(5) 施設・設備の状況、許可の種類

積替え保管の住所と面積と保管上限

① 下関市小月幸町982-15。

感染性廃棄物 面積・・6.3 m² 保管上限 10.08 m³ 最大高さ・・屋内保管

産業廃棄物 面積・・2.24 m² 保管上限 3.44m³ 最大高さ・・屋内保管

② 下関市小月幸町998番地11

感染性廃棄物 面積・・6.3 m² 保管上限 10.08 m³ 最大高さ・・2m

産業廃棄物 面積・・38.4 m² 保管上限 76.8m³ 最大高さ・・2m

③ 周南市大字久米字町合3120番3

感染性廃棄物 面積・・3.44 m² 保管上限 7.22m³ 最大高さ・・2.1m

産業廃棄物 面積・・1.94 m² 保管上限 4.06m³ 最大高さ・・2.1m

積替え保管の許可の種類

許可地	許可番号	許可年月日	有効期限	区分	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	及び陶磁器くず	コンクリートくず	感染性産業廃棄物
下関市	075600 35749	R02 4/1	R07 3/31	特管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
	075100 35749	H27 11/1	R07 10/31	産廃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
山口県	035630 35749	R02 4/1	R07 3/31	特管												●
	035030 35749	R02 4/1	R07 3/31	産廃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

保有車両・・・保冷箱車 6台

特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬量 804,8t/年 (令和5年度実績)

●特別管理産業廃棄物 単位「kg」

感染性産業廃棄物	汚泥(有害)	引火性廃油(有害)	廃酸(有害)	廃アルカリ(有害)	廃石棉等
726,661	0	1,270	0	0	0

●産業廃棄物 単位「kg」

廃プラスチック類	コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず	金属くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	ロムくず	燃え殻
62,239	8,912	2,701	2,050	684	160	160	0	0	

(6) 一般廃棄物収集運搬許可

許可の状況	
許可番号	第 11024 号
許可年月日	令和 6 年 4 月 1 日
許可の有効期限	令和 8 年 3 月 31 日
事業の範囲	一般廃棄物(ごみ)
営業の範囲	奥山工場処理区(旧下関・菊川・豊田)
施設等の状況	
運搬車両	<ul style="list-style-type: none"> ●小型車 貨物キャブオーバ … 1 台 ●小型車 貨物バン … 1 台 ●普通車 貨物バン … 2 台
積替え保管施設	保管積替えを含まない。

●一般廃棄物 単位「kg」

可燃物	1,500 k g	下関市奥山工場にて焼却処分
不燃物	550 k g	下関市吉母管理場にて資源選別処理

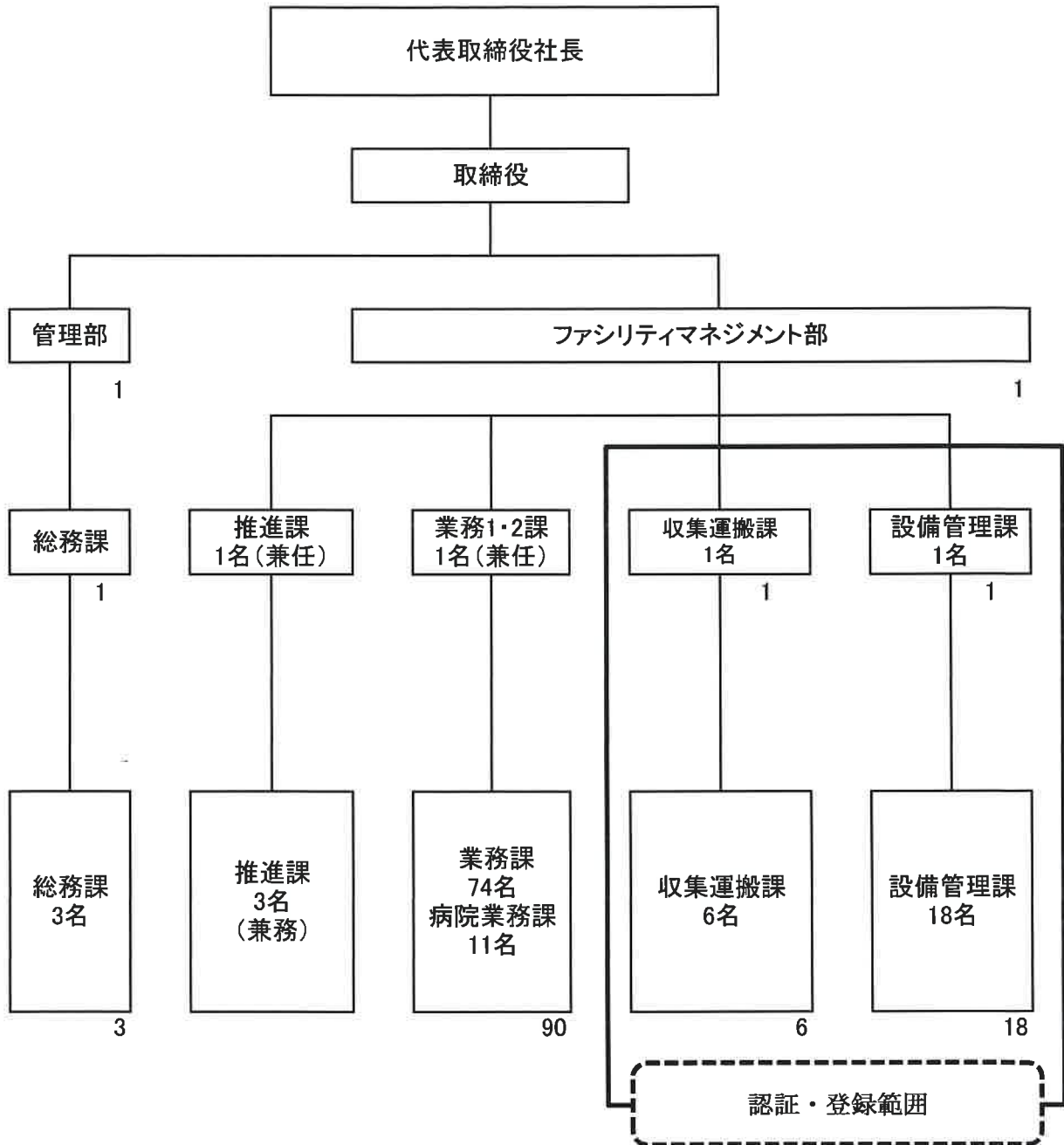
2. 組織図及び認証・登録範囲

(認証・登録範囲は以下の通り)

※令和5年4月1日時点(警備部をALSOK山口㈱へ業務統合)

※R05.10.01組織変更。

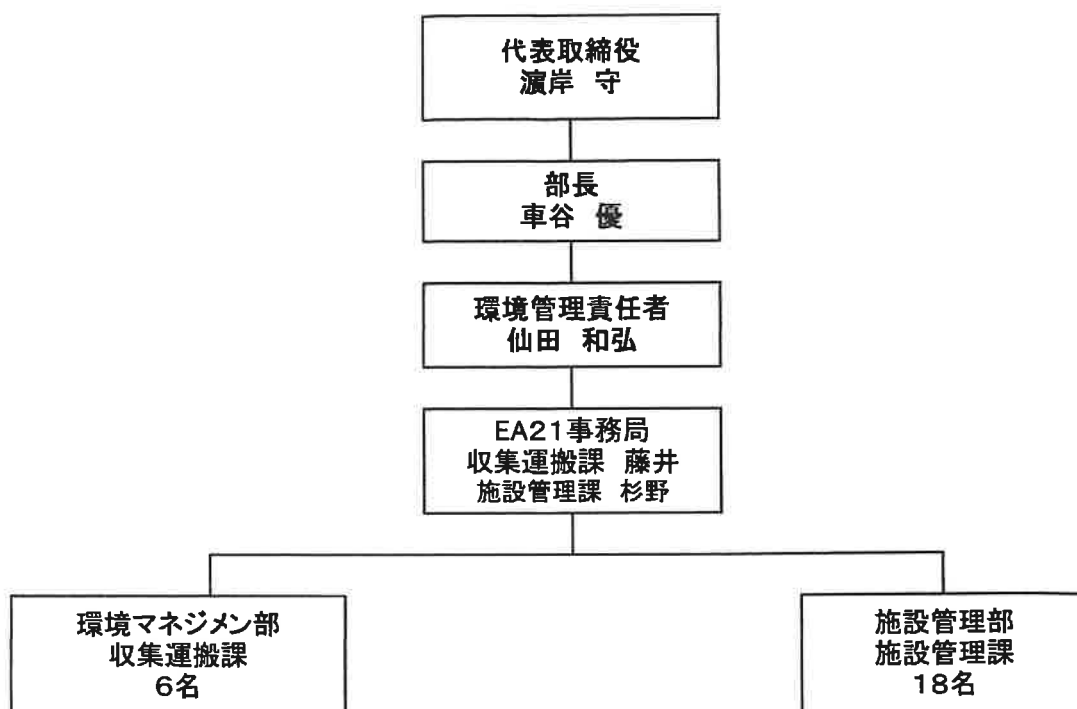
ファシリティマネジメント部へ収集運搬課及び設備管理課を併合



管理者	5名	
従業員	117名	122名

EA21実施体制

作成日	作成者
令和6年4月1日	藤井



役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限・使命
濱岸 守	代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> 全体統括、環境方針の設定、全体評価と見直し。 環境への取組みを実施するための資源を準備する。
車谷 優	部長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し運用してゆくための助言、補佐
仙田 和弘	環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し運用しその状況を社長に報告
杉野 稔 (施設管理部) 藤井 和宏/仙田和弘 (収集運搬課)	EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 全体の把握、環境経営システムを構築し運用しその状況を環境管理責任者に報告 環境目標/活動計画作成、レポート作成と報告。 EA21文書及び記録類の作成・維持・管理。 定期的に環境目標達成状況及び活動計画の実行状況を審議。
藤井 和宏	収集運搬課	<ul style="list-style-type: none"> 運行計画における排出ガス抑制立案。 積載効率管理。
中家 友治	収集運搬課	<ul style="list-style-type: none"> 車燃料(軽油)消費量の管理と削減。
藤井 和宏 杉野 稔・吉野 彰	収集運搬課 施設管理課	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入の推進。 顧客先満足度向上推進。 廃棄物量の管理と削減。 省資源化への取組み。
下村 昭	収集運搬課	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道の管理と削減。 地域社会への環境活動管理。
藤田 松美	収集運搬課	<ul style="list-style-type: none"> 電力、水、ガスの管理と削減。 灯油量の管理と削減。

3. 令和5年度及び中長期 環境目標

環境目標		単位	平成25年度 (基準年度)	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和6年度 目標	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	50,979 ※1、2	—	50,469 以下 1.0%	49,959 以下 2.0%	
	1-1 電力使用量の削減	kWh	4,579 ※2	—	4,533 以下 1.0%	4,510 以下 1.5%	
	軽油 使用量 の 削減	1-2-2 軽油使用量の削減	18,553 ※2	—	18,368 以下 1.0%	18,275 以下 1.5%	
		1-2-2 ※5 燃費の向上	km/ℓ	6.53	6.615 以上 1.3%	6.621 以上 1.4%	6.628 以上 1.5%
	1-3 灯油使用量の削減	ℓ	126 ※3	118 以下 6.5%	117 以下 7.0%	114 以下 7.5%	
2	廃棄物 総排出量 の削減	2-1 自社排出 産業廃棄物削減	kg	43.7	39.5 9.5%	39.3 10.0%	36.4 10.5%
		2-2 自社排出 一般廃棄物削減	kg	175.4	158.7 9.5%	157.9 10.0%	149.1 10.5%
3	総排水量(使用水量)の削減	m3	43.9	41.0 6.5%	40.8 7.0%	39.8 7.5%	
4	グリーン 購入 の推進	4-1 エコ容器推進/切替 (医療廃棄物回収容器)	累計 件数	1件 ※4	28 件以上	30 件以上	30 件以上
		4-2 省エネ車両の推進 (省エネ車両/保有台数)	%	25% ※6	70% 現状維持	75% 購入検討	75% 購入検討
5	サービスに 関する事項	顧客先満足度向上 (回収忘れ/クレーム等)	件数	2 件	0 件	0 件	0 件
6	地域社会 への 環境活動	6-1 会社周辺の清掃	回数	2回/月	3回/月	3回/月	3回/月
		6-2 地域清掃 ボランティアへの参加	回数	2回/年	1回/年	1回/年	1回/年
7	化学物質	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。				

※1 電気の二酸化炭素実排出係数は、中国電力のR4年度の0.529kg-CO2/kWhを適用。

※2 R5年 夏季の高温化に伴う『電力使用量』及び、新規受託先増加に伴う『軽油使用量』の環境目標数値の見直し再設定。二酸化炭素排出量の削減数値も変更。(R4年度を基準値再設定)

※3 H28年1月 項目追加。灯油使用開始(ストーブ設置)。都市ガス使用なしのため廃止。

※4 グリーン購入の推進についての、エコ商品購入の推進の回収容器は医療系廃棄物リサイクル素材を使用したエコ商品に切り替えること。

※5 平成31年度から業務請負状況にて増減し指標が安定しないため、『仕事毎の燃料使用量』から『燃費の向上』に変更した。(二酸化炭素排出量の削減に関する事項に追加)

※6 H31年目標値再設定。低公害車の導入(平成22年基準低排出ガス車、平成27年度 燃費基準達成車を指す)

★ファシリティマネジメント部 収集運搬課部門

4. 令和5年度の主要な環境活動計画

4-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減（環境目標数値の見直し R4 年度を基準値再設定）

夏⇒日よけ対策でシェードを実施。

冬⇒エアコン停止しストーブにて暖房。

温水器/エアコン未使用時期にブレーカーを OFF し待機電力削減。

サーキュレーター使用し省エネ運転。

エアコンのフィルターを定期的に清掃。

電気使用削減の為、省電力モードに設定する

未使用時の電源 off を行う。

(2) 軽油使用量の削減（環境目標数値の見直し R4 年度を基準値再設定）

運転経路の見直し

エコドライブのアイドリングストップの徹底

R6 年 8 月～R6 年 9 月の時期

処分場待機時間の集中時間帯を避ける運行検討

(3) 灯油使用量の把握

室温管理を行いながら灯油の使用量を削減し、冬季暖房電力消費量抑制に寄与。

4-2. 廃棄物総排出量の削減

(1) 産業廃棄物の削減

分別の徹底とリサイクル可能な物品の購入やマイボトル化を行う。

(2) 一般廃棄物の排出量の把握と削減

分別の徹底と削減の抑制と適正処分。

廃棄ダンボールの再利用化と再資源売却。

プリントミス削減とコピー用紙の裏面再利用化と再資源売却。

4-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の集計と削減

こまめな節水を実施。

雨水の活用、畑に散水、洗車時に使用。

4-4. グリーン購入の推進

(1) グリーン商品の導入

再プラスチック利用の回収容器の使用を推進し累計 28 件以上切り替える。

消耗品購入時は地産地商を推進検討する。

(2) 省エネ車両の推進

低公害/低燃費車両の導入の調査検討。

4-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

回収忘れなし。

クレーム「0件」。

4-6. 地域社会への環境活動

(1) 会社周辺の清掃

1 回/月の会社周辺の清掃活動の実施。

(2) 地域清掃ボランティアへの参加。

地域清掃活動に定期的に参加。

5. 期間内の目標と実績

令和5年4月～令和6年3月の運用の期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

環境 目標		単位	令和元年度 (基準年度)	令和5年度 目標	令和5年度 実績	令和5年度 評価		
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	50,979 ※1、2	50,469 以下 1%	56,022 -9.9%	×	目標数値再設定も電力・軽油の未達により未達となっている。	
1-1	電力使用量の削減	kWh	4,579 ※2	4,533 以下 1.0%	4,763 -5.1%	×	目標数値再設定も『夏季猛暑日増加』に伴い増加している。	
軽油 使用量 の 削減	1-2-1 軽油使用量の削減	ℓ	18,553 ※2	18,368 以下 1.0%	20,641.0 -12.4%	×	目標数値再設定も『新規受託』に伴い増加している。	
	1-2-2 ※5 燃費の向上	km/ℓ	6.530	6.621以上 1.4%	7.319 10.5%	○		
1-3	灯油使用量の削減 (都市ガス使用なし)	ℓ	126 ※3	117 以下 7.0%	100 14.5%	○		
2	2-1 自社排出 産業廃棄物削減	kg	43.7	39.3 10.0%	38.0 3%	○		
	2-2 自社排出 一般廃棄物削減	kg	175.4	157.9 10.0%	114.0 28%	○		
3	総排水量(使用水量)の削減	m3	43.9 ※2	40.8 7.0%	46.0 -12.7%	○		
4	グリーン 購入の 推進	4-1 エコ容器推進/切替 (医療廃棄物回収容器)	累計 件数	1件 ※4	30 件以上	27 件	×	エコ容器の切替推進が進まなかった
		4-2 省エネ車両の推進 (省エネ車両/保有台数)	%	25% ※6	75% 購入検討	75% 購入検討	○	令和6年10月に納車予定(ハイブリッド車)
5	サービスに 関する事項	5-1 顧客先満足度向上 (回収忘れ/クレーム等)	件数	2 件	0 件	0 件	○	
6	地域社会 への 環境活動	6-1 会社周辺の清掃	回数	2回/月	3回/月	4回/月	○	
		6-2 地域清掃 ボランティアへの参加	回数	2回/年	1回/年	0回	×	不参加
7	化学物質	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。					

※1 電気の二酸化炭素実排出係数は、中国電力のR4年度の0.529kg-CO2/kWhを適用。

※2 R5年 夏季の高温化に伴う『電力使用量』及び、新規受託先増加に伴う『軽油使用量』の環境目標数値の見直し再設定。二酸化炭素排出量の削減数値も変更。(R4年度を基準値再設定)

※3 H28年1月 項目追加。灯油使用開始(ストーブ設置)。都市ガス使用なしのため廃止。

※4 グリーン購入の推進についての、エコ商品購入の推進の回収容器は医療系廃棄物回収容器を、リサイクル素材を使用したエコ商品に切り替えること。

※5 業務請負状況にて増減し指標が安定しないため、『仕事毎の燃料使用量』から『燃費の向上』に変更した。(二酸化炭素排出量の削減に関する事項に追加)

※6 H31年目標値再設定。低公害車の導入(平成22年基準低排出ガス車、平成27年度 燃費基準達成車を指す)

★ファシリティマネジメント部 収集運搬課部門

廃棄物収集運搬部 過去3年間の推移

環境 目標		単位	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	44,525	51,335	56,022	
	1-1 電力使用量の削減	kWh	4,193	4,579	4,763	
	軽油 使用量 の 削減	1-2-1 軽油使用量の削減	ℓ	16,013.8	18,553.2	20,641.0
		1-2-2 ※5 燃費の向上	km/ℓ	6.713	6.673	7.319
	1-3 灯油使用量の削減 (都市ガス使用なし)	ℓ	166	80	100	
2	廃棄物 総排出量 の 削減	2-1 自社排出 産業廃棄物削減	kg	30.0	33.0	38.0
		2-2 自社排出 一般廃棄物削減	kg	130.5	118.0	114.0
3	総排水量(使用水量)の削減	m3	37.9	38.7	46.0	
4	グリーン 購入の 推進	4-1 エコ容器推進/切替 (医療廃棄物回収容器)	累計 件数	26 件	27件	27件
		4-2 省エネ車両の推進 (省エネ車両/保有台数)	%	75%	75%	75%
5	サービス に関する 事項	5-1 顧客先満足度向上 (回収忘れ/クレーム等)	件数	0 件	0 件	0 件
6	地域社会 への 環境活動	6-1 会社周辺の清掃	回数	4回/月	4回/月	4回/月
		6-2 地域清掃 ボランティアへの参加	回数	0	0	0
7	化学物質	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。			

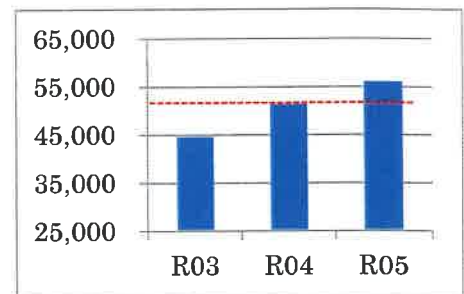
6. 環境活動計画の取組結果とその評価

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

削減目標を基準値の1%削減としたが、実績は-9.9%削減と未達成であった。新規請負先増による軽油使用量の大幅増が主要因となった。

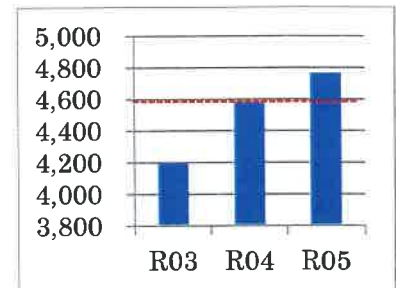
猛暑日の増加の影響から熱中症対策で車内での、エアコン使用が増え、軽油使用量が増えたことが要因となった。

(グラフの赤線が目標ライン)



(1) 電気使用量の節電

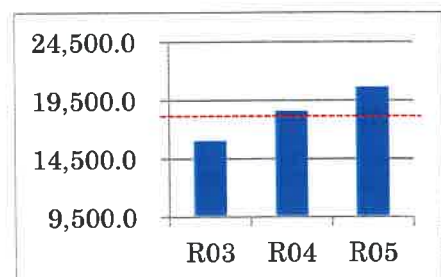
前年度を基準として、節電を推進。目標を1%削減としたが、-5.1%と未達成であった。夏季の猛暑日増加によるエアコン使用が増えた。また、新規請負先増による事務ワークが増加。



(2) 軽油使用量の削減

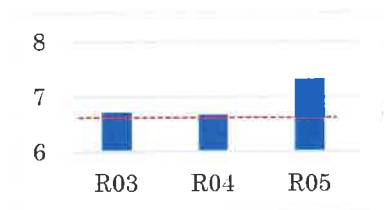
①軽油使用量の削減

基準値の1.0%削減目標が、未達成であった。エコドライブ運転及びアイドリングストップの底や運行ロスなどの対策が行われているも、請負先追加に伴い、走行距離が増加で年度後半はコロナウイルス感染拡大で回収量の増加で軽油使用量が増加した。



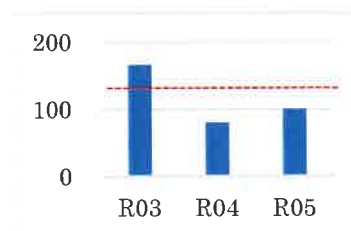
②燃費向上による軽油使用量の削減

基準値の 1.4%に対し 10.5%目標達成であった。
 エコドライブ及びアイドリングストップ徹底など
 識づけ、新規受注先の高速道路使用の影響で
 燃費が向上した。
 熱中症対策で休憩時エアコンを使用し燃費は悪化
 傾向にある中目標が達成できた。



(3) 灯油使用量の削減

削減目標の基準 7.0%だが、14.5%と達成となった。
 暖冬の影響で減少した。



6-2. 廃棄物総排出量の削減

自社から排出される廃棄物の分別の徹底を行い削減に取り組。
 また、再資源化できるものはリサイクルし最終処分にしない様にした。

R4/4~R5/3 収集運搬課

	自社排出 産業廃棄物 (kg)					自社排出 一般廃棄物 (kg)				全体
	廃プラスチック	ガラスくず	金属くず	ペットボトル	合計	古紙	廃ダンボール	その他・ゴミ類	合計	
	基準 43.7 以下 実績 38.0 13.0%					基準 175.4 以下 実績 114.0 35.0%				
排出量	14	0	6	14.0	38.0	24.0	61.0	29.0	114	152
売却量	—	—	—	—	—	24.0	61.0	—	85.0	85.0
再利用	14	0	6	14.0	38.0	—	—	—	—	38.0
最終処分率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	—	19.0%

(1) 自社排出 産業廃棄物の削減

削減目標を基準の 10%削減としたが、実績は 3%削減で達成できた。
 再利用出来る物と出来ない物を分別し、収集廃棄物の汚れ防止などの梱包材に使用

(2) 自社排出 一般廃棄物の削減

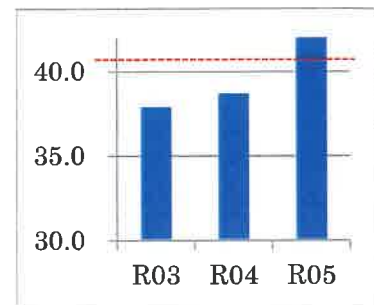
削減目標を基準の 10%削減としたが、実績は 28%削減で達成できた。
 容器納品時に梱包されているダンボールを売却し再資源化。

6-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の削減

削減目標を基準の 7.0%削減としたが、-12.8%と未達成となった。

新規受託増で洗車回数の増加した。



6-4. グリーン購入の推進

(1) グリーン商品の導入

各診療所にリサイクル素材使用の医療系廃棄物回収容器のお知らせを行い周知した。
累計切り替え件数 30 件を目標としたが 27 件と未達成であった。

(2) 省エネ車両購入の推進

目標達成率を基準の 75%とした。実績は 75%で達成できた。
今後、車両買換え基準を設定。使用 13 年以上の車両の買換え。
ハイブリッド車などの省エネ車両の推進を検討する。

6-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

回収忘れ及びクレーム「0 件」が達成できた。
些細な依頼も笑顔で対応することが出来た。

6-6. 地域社会への環境活動

(1) 会社周辺の清掃

毎週実施を心掛け平均 4 回/月が今年も実施できた。

(2) 地域清掃ボランティアへの参加

産廃協会主催の海水浴海岸清掃ボランティア活動に参加する予定であったが、
業務多忙により調整できず不参加となった。

7. 令和6年度の取組内容

7-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

続けてきた節電対策を行いつつ、季節の節電も実施する。
事務所の電気使用を適切に実行する。

(2) 軽油使用量の削減

軽油使用量の削減のため燃費向上に取り組む。
道路状況等を把握し使用量を削減できる運行案を検討する。
処分場での待機ロスを減少の為、搬入時の渋滞時間帯の把握。
クールシェアの出来る場所を探す。

(3) 灯油使用量の削減

室温/湿度を管理し削減してゆく。
担当者を決めて室内温度管理を徹底する。

7-2. 廃棄物総排出量の削減

(1) 自社排出 産業廃棄物 / 自社排出 一般廃棄物の排出量削減

納品時の梱包ダンボール・包装ビニールを産廃梱包材に再利用。
また、消化できずに余ったものは、再資源化处理業者への委託。
My ボトル化及び可燃ゴミの削減を推進。

7-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の削減

車両積載コンテナ内の汚れ防止のための廃棄物事前梱包を行い、洗車時の節水を推進したい。 雨水の再利用化も継続する。

7-4. グリーン購入の推進

(1) グリーン商品の導入

環境負荷軽減に寄与するリサイクルペール容器の使用を病院側に勧め累計 32 件切り替える。

(2) 使用 13 年以上の車両の買換え検討。ハイブリッドなどの省エネ車両を検討する。

7-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

顧客ニーズに対応し迅速提供を行いクレーム「0件」を達成してゆく。

7-6. 地域社会への環境活動

(1) 会社周辺の清掃/地域清掃ボランティアへの参加

産業廃棄物協会主催の清掃活動に参加したい。

3. 令和5年度及び中長期 環境目標

環境 目標		単位	平成29年度 (基準年度)	令和5年度 目標	令和6年度 目標	令和7年度 目標	
1	電力使用量の削減 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	88%	90%	92%	
2	廃棄物 総排出量 の削減	2-1 自社排出 廃棄物削減 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	88%	90%	92%
		2-2 自社排出 産業廃棄物削減	kg	現状把握 108.90	99.10 9%	98.01 10%	96.92 11%
		2-3 自社排出 一般廃棄物削減	kg	現状把握 548.1	498.8 9%	493.3 10%	487.8 11%
3	総排水量(使用水量)の削減 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	88%	90%	92%	
4	グリーン購入の推進 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	86%	88%	90%	
5	サービスに 関する事項	顧客先満足度向上 (クレーム)	件	0件	0件	0件	0件
6	地域社会への環境活動	%	現状把握 70%	86%	88%	90%	
7	化学物質	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。				

※1 病院管轄下にあるため、弊社の使用数値が求められないので行動目標とする。

4. 令和5年度の主要な環境活動計画

4-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

省電力化の推進。(不必要な時間、場所の消灯。OA 機器等は省電力設定)
エアコンの適温化の徹底。(時間帯別やブラインドを使用し調整)
クールビズ・ウォームビズを行い電力使用量の削減に努める。

4-2. 廃棄物総排出量の削減

(1) 産業廃棄物の削減

分別の徹底とリサイクル可能な物品の購入やマイボトル化を行う。

(2) 一般廃棄物の排出量の把握と削減

分別の徹底と削減の抑制と適正処分。
プリントミス削減とコピー用紙の裏面再利用化と再資源売却。

4-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の集計と削減

こまめな節水を実施。

4-4. グリーン購入の推進

(1) 病院側にグリーン商品の購入検討を提案する。
修理や部品交換が可能製品の推進/購入を進める。
消耗品購入時は地産地消を検討し進める。

4-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

クレーム「0件」。

4-6. 地域社会への環境活動

(1) 地域清掃ボランティアへの参加。

院内の廃棄物保管場所の衛生確保の為定期的に清掃。

5. 期間内の目標と実績

令和5年4月～令和6年3月の運用の期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

環境 目標		単位	平成29年度 (基準年度)	令和5年度 目標	令和5年度 実績	令和5年度 評価		
1	電力使用量の削減 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	88%以上	100.0%	○		
2	廃棄物 総排出量 の削減	2-1 自社排出 廃棄物削減 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	88%以上	100.0%	○	
		2-2 自社排出 産業廃棄物削減	kg	108.90	99.10 9%	72.80 33%	○	
		2-3 自社排出 一般廃棄物削減	kg	548.10	.498.8 9%	254.50 54%	○	
3	総排水量(使用水量)の削減 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	88%以上	90.0%	○		
4	グリーン購入の推進 ※1 (行動目標の達成率)	%	現状把握 70%	86%以上	100.0%	○		
5	顧客先満足度向上 (クレーム)	件	0件	0件	0件	○		
6	地域社会への環境活動	%	現状把握 70%	86%以上	100.0%	○		
7	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。						

※ 廃棄物総排出量の削減以外は、病院管轄下にあるため、弊社の使用数値が求められないので行動目標とする。

設備管理部 過去3年間の推移

環境 目標		単位	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	
1	電力使用量の削減 (行動目標の達成率)	%	100.0%	100.0%	100.0%	
2	廃棄物 総排出量 の削減	2-1 自社排出 廃棄物削減 (行動目標の達成率)	%	96.0%	96.0%	100.0%
		2-2 自社排出 産業廃棄物削減	kg	124.21	100.00	72.80
		2-3 自社排出 一般廃棄物削減	kg	391.49	351.95	254.50
3	総排水量(使用水量)の削減 (行動目標の達成率)	%	90.0%	90.0%	90.0%	
4	グリーン購入の推進 (行動目標の達成率)	%	86.7%	86.7%	100.0%	
5	顧客先満足度向上 (クレーム)	件	0件	0件	0件	
6	地域社会への環境活動	%	100.0%	100.0%	100.0%	
7	化学物質使用量の削減	※使用が無いため取組みはありません。				

6. 環境活動計画の取組結果とその評価

※数値が公表できない為、行動目標達成数値となる。

6-1. 電力使用量の削減

88%達成目標 ⇒ 結果 100%達成
限られた節電行動であるが目標を達成。

6-2. 廃棄物総排出量の削減

自社から排出される廃棄物の分別の徹底を行い削減に取組。
また、再資源化できるものはリサイクルし最終処分にしない様にした。

88%行動目標達成 ⇒ 結果 100%達成

R05/3~R06/3 施設維持管理部

単位「kg」

	自社排出 産業廃棄物 72.80kg				自社排出 一般廃棄物 254.50kg			合計
	廃プラスチック類 ビニール類	ガラスくず	金属くず	ペットボトル	古紙	廃ダンボール	その他・ゴミ類	
排出量	0	12.10	2.90	57.80	0.8	0	253.7	327.3
売却量	—	—	—	—	—	—	—	0
再利用		12.10	2.90	57.80	0.8	0	0	73.6
最終処分率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%※1	—

※1 病院指定業者に引渡後（焼却処分）

(1) 産業廃棄物の削減

飲料缶や瓶、PET ボトルの削減のためマイボトル化推進を徹底した。

9%削減目標 ⇒ 結果 33%達成

(2) 一般廃棄物の削減

適切な分別を行い、焼却処分を減少させた。

9%削減目標 ⇒ 結果 54%達成

6-3. 総排水量の削減

86%達成目標 ⇒ 結果 90%達成

節水意識が少しずつ定着してきた。

現状維持を心掛ける。

病院は大量の水を使用する施設であるから少しでも節水を心掛けたい。

6-4. グリーン購入の推進

86%達成目標 ⇒ 結果 100%達成

病院設備部品等の購入においては、病院側の許可が必要になる為、価格等が重要視される。環境負荷抑制面及び価格面を調査し商品購入を提案。

6-5. サービスに関する事項

0件達成目標 ⇒ 結果 0件達成

クレームなどの指摘は受けていない。引き続き続けていきたい。

6-6. 地域社会への環境活動

86%達成目標 ⇒ 結果 100%達成

院内の廃棄物倉庫の整理整頓清掃を実施。

7. 令和6度の取組内容

※数値が公表できない為、行動目標達成数値となる。

7-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

年々と夏季の猛暑で院内の空調使用が増え電気使用量は増えていると感じているが、続けてきている節電対策を実施する。

7-2. 廃棄物総排出量の削減

(1) 自社排出 産業廃棄物 / 自社排出 一般廃棄物の排出量削減

今後も弁当ガラと My ボトル化及び可燃ゴミの削減を推進。

7-3. 総排水量の削減

(1) 水道使用量の削減

弊社においての行動目標を徹底し推進し削減に寄与する。

7-4. グリーン購入の推進

(1) グリーン商品の導入

病院側に環境負荷の少ない商品の提案を推進したい。

7-5. サービスに関する事項

(1) 顧客満足度向上

顧客ニーズに対応し迅速提供を行いクレーム「0件」を達成してゆく。

7-6. 地域社会への環境活動

(1) 会社周辺の清掃/地域清掃ボランティアへの参加

定期的な清掃活動を通じて地域社会の環境改善に貢献してゆくとともに、会社外の社会活動においても、省エネ・廃棄物削減に取り組む。

8. 環境関連法規への違反・起訴等の有無

環境関連法規の遵守状況のチェックの結果違反はありませんでした。
尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの起訴等も、法人設立以来ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

近年の夏季の猛暑対策でエアコン使用頻度増加、車内のカーエアコン使用等が主たる要因として二酸化炭素排出量の削減の目標が達成できていないことに関しては残念に思う。

新たに加えた軽油使用量の削減に関する事項の指標『燃費向上』は、新規請負先増加による走行距離が増加したが向上していることから、エコドライブなど軽油使用量の抑制対策は効果があると考えている。今後も、継続し推進したい。

また、猛暑日の増加する夏季にあっても燃費悪化になっていないことは、従業員の省エネ意識が大きく寄与していると思う。

車両購入検討の結果、令和6年10月には低燃費車両ハイブリッド車の納車を控えている。

また、新設した産業廃棄物保管庫にて、収集運搬してきた産業廃棄物を分別及び選別し、リサイクル可能なものは業者を通じて再生資源化する業務もプラスチック素材別に再生資源化できる業者を探し拡大を検討している。

10. その他

倉庫・保管庫から出火を想定した緊急事態訓練を想定した訓練
実施訓練



連絡対応

